

【叙勲】

祝 叙勲 令和4年 秋の叙勲受章

瑞宝双光章受章 謹んでお祝い申し上げます。

仲地尚樹氏 (39 回生 沖縄支部) 元 那覇市立病院診療部門中央放射線科技師長

大川 渡氏 (53 回生 兵庫支部) 元 三菱神戸病院画像技術科部長

令和4年秋の叙勲にて瑞宝双光章受賞の栄を賜り



元(公社)兵庫県放射線技師会 副会長

元 三菱重工業株式会社 三菱神戸病院 画像技術科 部長

大川 渡(53 回生)

令和4年11月3日秋の叙勲に際し、(公社)兵庫県放射線技師会の推薦をいただき、瑞宝双光章の栄を賜ることができました。これもひとえにご指導ご支援を頂いた諸先輩の方々、職場の皆様、共に診療放射線技師として活動してきた

仲間のおかげだと感謝しております。

今から約40年前の昭和54年3月に京都放射線技術専門学校を卒業し、同年4月より診療放射線技師としての第一歩を踏み出しました。その頃からX線CTが急激に普及し始め、私が勤務する施設にも島津製作所製の頭部専用CTが導入され、救急医療における放射線技師の役割が大きく変化する時代となりました。そこで、「神戸頭部研究会」を立ち上げ、日本放射線技師会雑誌誌上講座に「脳細胞増殖講座」を代表世話人として6か月間投函していた時代を懐かしく思い出します。

その後、兵庫県放射線技師会の理事となり、理事、副会長、監事を18年務め、放射線技師の生涯学習を積極的に推進し、放射線管理士、機器管理士講習にも関与しました。東日本大震災による福島第一原子力発電所事故の復旧時においては、緊急被ばく医療の講師を務めた経験で、救急医療体制を整えた隣接するERに応援にも行きました。

三菱神戸病院では、放射線技師部門だけではなく、ME機器管理室、システム管理室の室長を務めてきましたが、60歳で定年退職し、別企業の健康管理室で、放射線技師として本来の技師業務を遂行しています。

最後になりますが、この紙面を提供していただいた同期の玉田学友会会長と、学生時代に多くの負担をおかけした山田先生、西谷先生、そして京都医療科学大学学友会の皆様のご健勝を祈願致します。

以上